

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	やまびこ茅ヶ崎プラス教室			
○保護者評価実施期間	2025年 3月 25日 ~ 2025年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 39人	(回答者数) 11人		
○従業者評価実施期間	2025年 3月 25日 ~ 2025年 3月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数) 6人		
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々にあったプログラムを提供できている。	・全員が同じ課題に取り組むのではなく、個々の目標かスキルを基に課題内容の見直しまたは、達成ラインの設定をしている。	・利用者の最善が何かを常に考え、職員間での話し合いを増やしていく。
2	複数エリアの利用者様が集まっている為、福祉・医療・教育において多くの情報を共有することが出来ている。	・事業所に集まった情報はニーズがあれば保護者へ共有している。	・外部研修への参加をする等して、より多くの情報収集をしていく。
3	利用者の年齢層をある程度絞り込むことが出来ている為、全利用者の実年齢を考慮した上での支援が出来ている。	・同年代の子ども達が経験していることを当たり前に経験出来る機会を提供している。	・保護者だけではなく、子ども達の意見にも積極的に耳を傾けていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様との直接的な関わりを持つ機会が、面談時か時折迎えに来られる時ののみである。	・就労準備型放課後等デイサービスである為送迎が無く、お子様自身で徒歩や公共交通機関利用での来所をされている割合が多い。	・普段より児発育が電話での直接対話を行っており、利用時の連絡帳や事業所と保護者様とのSNSでいつでも連絡は取れるようになっているが、より電話とSNSを活用し情報共有をしていく。
2	・防災や緊急時の保護者様への引き渡し方法がしっかりと確定できていない。 ・また役割分担や訓練はしているが、実際にその状況になった際、機能できるか検討中の段階。	・複数エリアからのご利用があるので、災害時それぞれの公共交通機関の対応が実際はどのようになるのか不明である。 ・災害時のマニュアルの情報量が多く、現場でマニュアル通りに動けるのかどうか検討しないといけないと考えている。	・エリア別に公共交通機関に確認をしていく。また交通機関乗車中、ご自宅の最寄り駅やバス停に到着された際など、ポイントとなる状況や場所を決めて、保護者様と確認項目を具体的にしていく。 ・マニュアルを事業所の現状や利用者様に合ったものにする為に定期的に見直し検討を行う。
3			